

みやぎ 街ひと話題

コルネット
http://www.kahoku.co.jp
仙台・宮城の広告情報
http://kahoku.shufoo.net/

携帯サイト

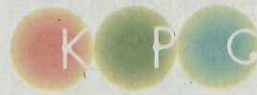


ご購入申し込みは
0120-09-3746

9:00~19:00

地域SNS「ふらっと」
http://flat.kahoku.co.jp

かほピョンくらぶ



KAHOKU PYON CLUB
会員募集中
http://pyon.jp/

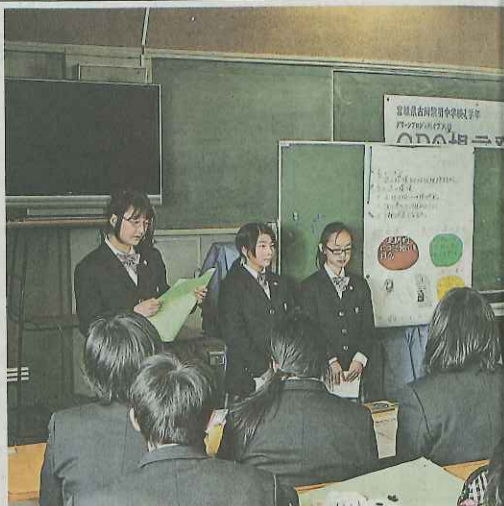
復興へ視点さまざま 仙台でシンポ

福祉避難所整備 働き掛けが必要

法務省主催の人権シンポな課題。子どもたちが希望シウム「震災と人権 一人一人の復興を目指して」が11日、仙台市青葉区のアエルであり、子どもや高齢者など弱い立場にある震災被災者の支援策について、有識者ら4人がパネル討論で意見を交わした。

人権

避難所の整備について「各市町村で拡充されるように住民自らが行政に働き掛けられることが、命を守ることにつながる」と述べた。宮城県人権擁護委員連合会の鈴木千代子会長、南三



1年生が渡り鳥の成育地拡大など自然環境保全をテーマに提言を発表した。市内のNPO法人「無栗ぬまっこくらぶ」と連携して続けてきた総合学習の集大成。生徒は12グループに分かれ、「渡り鳥の成育地をどう拡大地域の自然環境保全について発表する生徒たち



被災した子どもや高齢者の人権について意見を交わしたシンポジウム

陸ホテル観洋(南三陸町) それぞれ被災地の課題を指摘のおかみ阿部憲子さんもそした。

「低タンパク食」専門家が解説

県内の管理栄養士でつくる宮城臨床栄養研究会は18日、仙台市青葉区のシヨーカービルで腎臓病の食事療法をテーマにした市民講座を開く。昭和大学が丘病院(横浜市)の出浦照国客員教授が講演し、人工透析の導入を先に延ばす食

あす・仙台で講座

事前法の基本とされている「タンパク食」について解説。日本大震災の被災地で低タンク食療法をどのように実践していたのかを、患者自らが体験発表する。午前10時午後4時。参加料。申し込み不要。

教訓 地域に広めたい

東日本大震災 社会資本再生・復興シンポジウム
～東日本大震災から美しいふるさと宮城の復興に向けて～



市民ら約200人が参加。被災地の岩手県山田町で子どもたちを支援している森田明美東洋大教授(児童福祉学)は「子育て世代の貧困問題は被災地の大きな課題」と述べた。

アートの力が 笑顔をつなぐ

東日本大震災で被災した子どもたちに、アートや遊びを通じた支援を考えるシンポジウム「子どもの未来」と「復興支援」2012～アートのつなぐ子どもの笑顔」が4日、仙台市青葉区のエル・パーク仙台で開催された。市民ら約40人が参加した。シンポジウムはNPO法

子ども

人せんだい杜の子ども劇場 子どもが遊びを通して笑顔(泉区)が主催。昨年11月から被災地で行った芸術体験イベントの一環として、子どもたちに笑える場を提供できるのがアートの力。今後活動も続けたいと飛び入りで発言した。石巻市生涯学習課の坂本忠厚社会教育主事の基調講演も行われ、同市のジュニアリーダーサークルの避難にこの家(太白区)の小所での活動などを紹介した。安住宣孝前女山は、震災直後に県